

相続事業を始めた経緯

- ▽異業種交流会での山本さんとの出会い
- ▽山本さんの元での修行・・・2022年10月から約2年間
- ▽今年の1月からの試行（自腹）
- ▽5月～8月まで無料相談（補助金）
- 2件の受注（遺産分割協議書、遺言書（公正、自筆））
- ▽不動産会社他とコラボで継続（ダメになった）



- ▷ターゲット：70歳以上の相続に不安をお持ちの方
（おひとり様、子どものいないご夫妻、手続きしたい）
- ▷集客方法：紙媒体での広告
ロールモデルあり・・・横浜での実績からある程度集客可能
- ▷マネーポイント：遺言書・遺産分割協議書作成、手続き代行など

相続事業を始めて苦労したこと分かってきたこと

1. 相続人の確定

戸籍の読み方、取り方が分からない

⇒戸籍が違っている（極めて稀）・・・役所に確認、修正

2. 不動産

依頼人が認識していな不動産が出てくる（名寄せ）

⇒八王子の宅地と家屋の予定が畑の土地もあり、それも25人の共有
共有だと全員の合意がないと売れない！

3. 不安を抱えている高齢者が多い

・お子さんのいらっしやらない高齢者・・・将来に不安があり、夜も寝れない

⇒一人残されたら、お墓のことなど⇒サポートをして差し上げたい

・相談にはいらっしやるが、依頼がない・・・「他でもいいので遺言書を・・・」

4. 相談について：話をしっかり聞くことが大切

（傾聴：知識をしゃべりたくなるが我慢）

今後の相続事業について

▽現在までの手法による高齢者（70歳以上）を対象にした事業
紙媒体、自治体での講演、コラボなど

⇒いかに費用を掛けずに。高齢者に届く広告を出すか

▽被相続者のジュニア世代（40歳～60歳）を対象事業
HPやSNSを活用した集客

○被相続人として

- ・再婚で前妻（前夫）との間に子どもがいる
- ・シングルマザー（ファザー）で子どもが未成年
- ・事実婚の方
- ・贈与を活用したい方

○相続人として

- ・相続財産の運用

被相続者のジュニア世代（40歳～60歳）を対象

HPやSNSを活用した集客

○被相続人として

- ・再婚で前妻（前夫）との間に子どもがいる⇒遺言書
- ・シングルマザー（ファザー）で子どもが未成年⇒遺言書
- ・事実婚の方⇒遺言書
- ・贈与を活用したい方⇒税理士と連携・NISA活用

○相続人として

- ・相続財産の運用

金融資産財産の運用・・・J-FLECの認定アドバイザー制度を活用

割引率は、相談料の8割（1時間あたり上限8,000円、
3時間合計で上限24,000円）

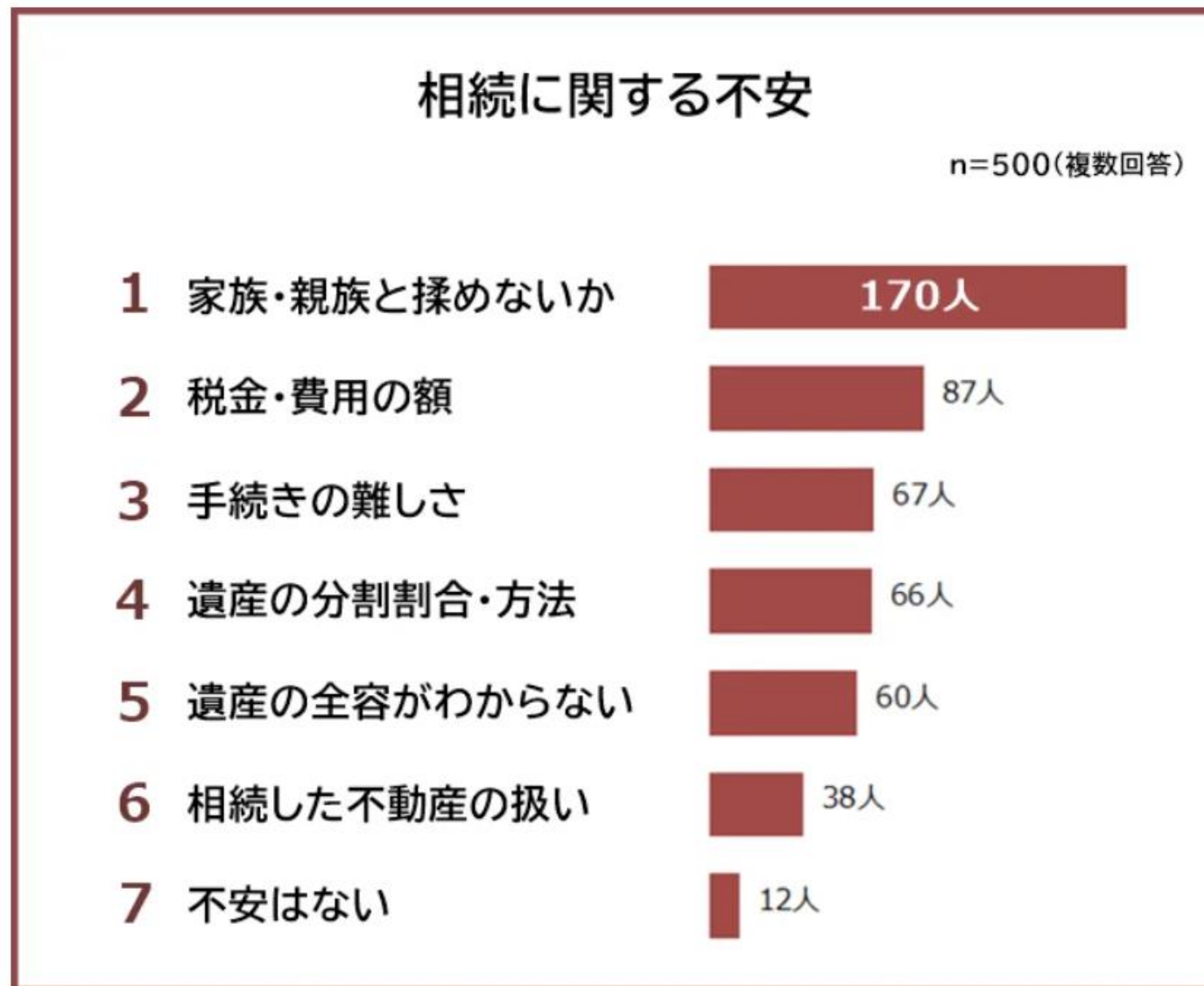
相続の基本事項

理想の相続とは？

- 家族の絆が強まる相続
- 親族に少しでも多く残す

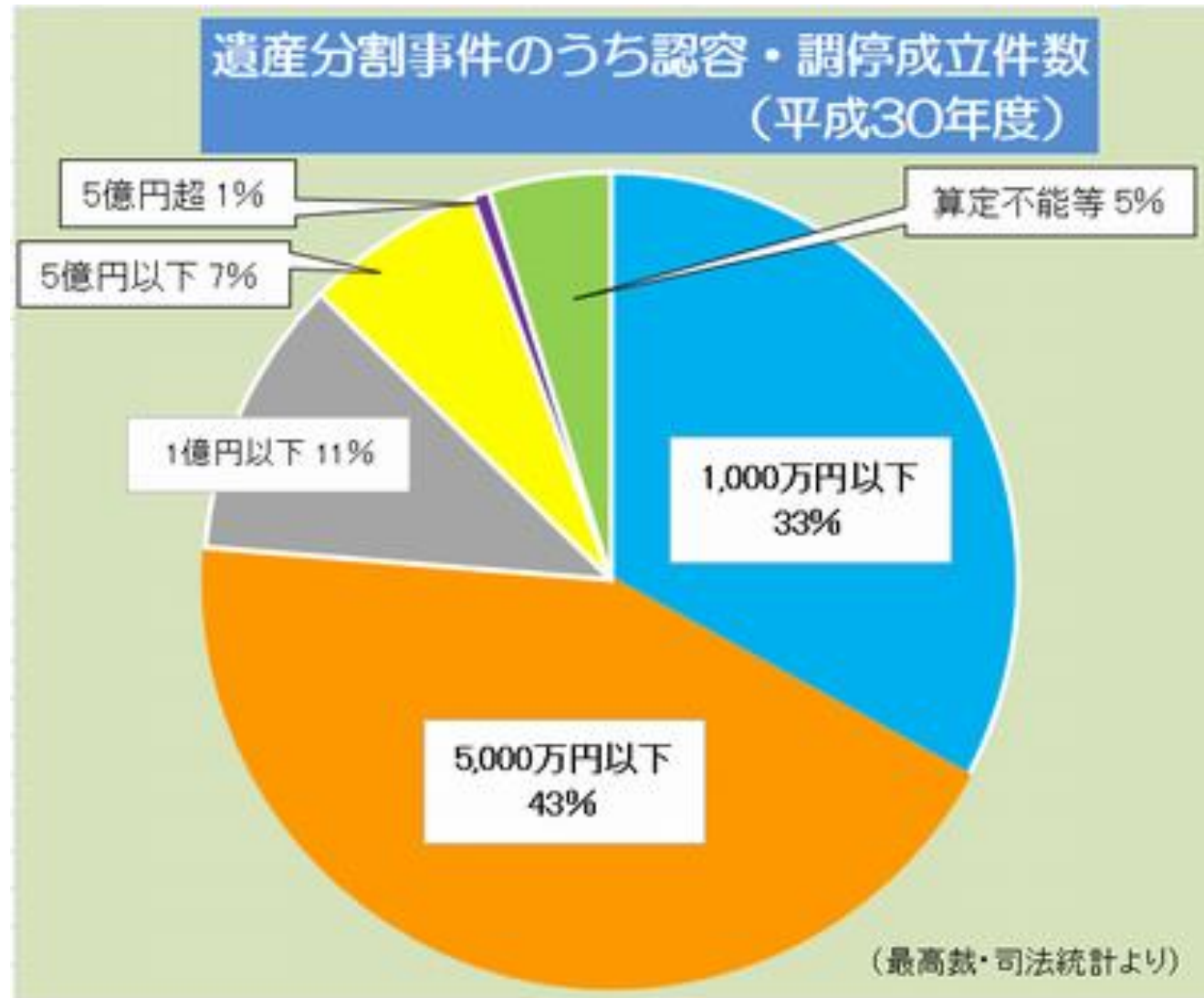


相続に関する不安の状況



【相続に関する不安ランキング】男女500人アンケート調査

争族の76%は5000万円以下。
1000万円以下でも33%



家族の絆が強まる相続を実現するには —争族の原因は—



どうして兄だけ
どうして妹だけ

長男が少し多く相続すべきだ

私が両親の世話をしたのよ

不公平な遺産分割の問題で争族へ



絆が強まる相続へ

法定相続分

①

第1順位（子）
あり



配偶者

1 / 2



1 / 2
均等に分ける
子ども

②

第1順位（子）なし
第2順位（親）あり



配偶者

2 / 3



1 / 3
均等に分ける
両親

③

第1順位（子）なし
第2順位（親）なし
第3順位（兄弟姉妹）
あり



配偶者

3 / 4



1 / 4
均等に分ける
兄弟姉妹

相続の主な 3 つのパターン

① 遺言による相続



② 分割協議による相続



③ 法定相続（調停など）

遺言書を書いていおいた方が良い例



- ①再婚で前妻（前夫）との間に子どもがいる場合
⇒遺留分を少なく（保険活用）
- ②子どもがいないご夫婦
⇒兄弟には遺留分ナシ
- ③法定相続人がいない場合
⇒国庫に入る
- ④事実婚の方（未入籍）
⇒相続権がない
- ⑤子どもに障害（知的）の方がいる場合
⇒遺産分割協議が出来ない

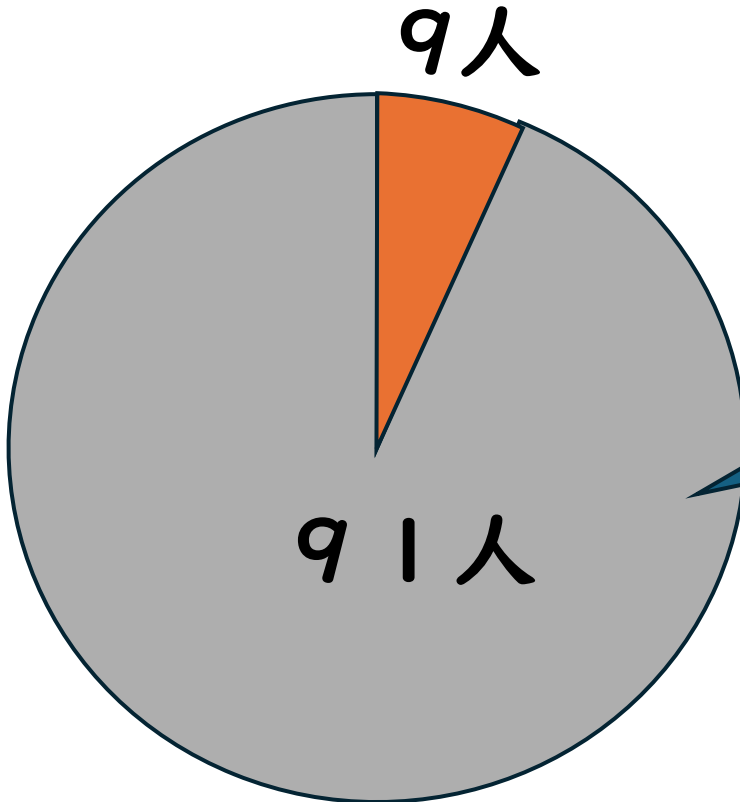
理想の相続とは？

- 家族の絆が強まる相続
- 親族に少しでも多く残す



Q：相続税が掛かった割合は？

2021（令和3）年は100人のうち約9人



相続税が掛かった割合が
思ったより少ないね



なぜ、相続税が掛かる人が少ないのか？

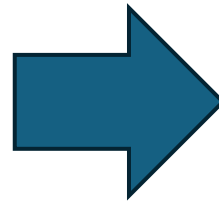
相続税には、基礎控除があるから！

基礎控除 = 3 0 0 0 万円 + 法定相続人 × 600 万円

この相続財産までは、相続税が掛からない！

保険、生前贈与などの活用も！

“絆”が強まる相続を！



具体的には
何をすれば
良いのか

早めの相談、準備が大切！！

- ①絆が強まる相続を第一優先
- ②少しでも多くの財産をご家族に

まずは、現状分析を、そして、遺産分割対策

